

# 読響

YOMIKYO  
Yrs.  
1962-2022

胸に迫るラフマニノフの  
ロマンティックな旋律

ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場など  
世界の檜舞台で活躍するドイツ屈指の名匠

常任指揮者=セバスティアン・ヴァイグレ  
Principal Conductor= SEBASTIAN WEIGLE

# シェエラザード

グリムカ: 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲  
GLINKA: 'Ruslan and Lyudmila' Overture

ラフマニノフ: パガニーニの主題による狂詩曲 作品43  
RACHMANINOFF: Rhapsody on a Theme of Paganini, op. 43

リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」作品35  
RIMSKY-KORSAKOV: Scheherazade, op. 35

コンサートマスター: 林 悠介  
Concertmaster: YUSUKE HAYASHI

読売日本交響楽団 第250回土曜マチネーシリーズ  
Saturday Matinée Series No. 250

読売日本交響楽団 第250回日曜マチネーシリーズ  
Sunday Matinée Series No. 250

2022年9月24日(土)  
Saturday, 24 September 2022

2022年9月25日(日)  
Sunday, 25 September 2022

両日とも14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール  
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

お申し込み・お問い合わせ  
読響チケットセンター0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

<https://yomikyo.or.jp/>

BBC響やバーミンガム市響などと共演し、  
繊細かつ独創的な音楽作りで  
注目を浴びる新星

ピアノ=パヴェル・コレスニコフ  
Piano= PAVEL KOLESNIKOV

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団  
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

魅惑的なメロディによる絢爛豪華な音絵巻



# シェエラザード

ヴァイグレ×読響が響かせる  
絢爛豪華な音絵巻

セバスティアン・ヴァイグレ  
(常任指揮者) Sebastian Weigle, Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス〈影のない女〉を振り、雑誌『オーパングヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は「オーパングヴェルト」の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。

胸に迫るラフマニノフのロマンティックな旋律！



©Eva-Vermandel

パヴェル・コレスニコフ(ピアノ)

Pavel Kolesnikov ※当初の発表から、出演者が変更になりました。

独創的な解釈と繊細かつ詩的な演奏を繰り広げ、欧米で注目を浴びる新星。カナダのホーネンズ国際コンクールで優勝。ロンドンを拠点とし、BBC響、バーミンガム市響、ロンドン・フィル、ロシア・ナショナル管、トロント響などと共演。ハイペリオン・レーベルからCDをリリースし、高い評価を得ている。2014年ウィグモアホールでのリサイタル・デビューでは、ザ・テレグラフ紙から5つ星の評価を受け、「長いことロンドンで聴くことがなかった最も忘れがたいコンサートのひとつ」と絶賛された。20年のウィーン芸術週間などでは、世界のコンテンポラリーダンス界をリードするA.T.ドゥ・ケースマイケルに指名され、J.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」で共演して、大きな話題を呼んだ。

9月《土日マチネーシリーズ》には、読響と厚い信頼関係を築いている常任指揮者のヴァイグレが登場。オーケストラの繊細さと壮大さ、双方の魅力が詰まった名曲揃いのプログラムで、休日の午後を華やかに彩ります。

メインにはリムスキー=コルサコフの「シェエラザード」を取り上げ、ドラマティックなサウンドを響かせます。リムスキー=コルサコフがボロディンによる中央アジアを題材にした音楽に触れ、自身も東洋情緒あふれる管弦楽曲を作曲しようと取り組んだ意欲作。今回、ヴァイグレの手腕によりオーケストラのエキゾチックな音色が会場を包み込みます。甘美で幻想的なヴァイオリンの独奏を弾くのは、昨年4月にドイツから帰国し、読響コンサートマスターに就任した林悠介。ドイツでオペラ作品の演奏経験が豊富な林は、語りかけるようなソロで聴衆を物語の世界へと誘います。各楽器によるソロもこの作品の聴きどころのひとつ。ヴァイグレの指揮のもと、読響メンバーが紡ぐアンサンブルをご堪能ください。

2曲目には、ロンドンを拠点に世界各地で活動するパヴェル・コレスニコフが初登場。スラリとした長身に甘いルックス、長い手と指から繰り出される詩的な音楽で、各地のファンを魅了しています。独創的な音楽作りで注目を浴びる気鋭が、ラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」で変幻自在なソロを披露します。有名な第18変奏ではロマンティックな旋律を繊細かつ流麗に弾きこなし、最終変奏では白熱のソロと大迫力のオーケストラで感動のクライマックスが築かれるでしょう。読響とコレスニコフが織り成す化学反応に、どうぞご期待ください。

歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲では、オペラ指揮者としても活躍するヴァイグレによって軽快かつ躍動感あふれる音楽が見事に引き出され、演奏会の華やかな幕開けにぴったりの演奏となるでしょう。

読売日本交響楽団 第250回 土曜マチネーシリーズ

2022年 **9月24日** (土) 14時開演  
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第250回 日曜マチネーシリーズ

2022年 **9月25日** (日) 14時開演  
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール(池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(※駅下通路2b出口と直結しています)

【観覧料】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306(予約受付:平日9時-17時) 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演等が一部変更される場合がございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296